

J:COM湘南「夕なび」に生出演



J:COM湘南スタジオの様子



神奈川地方協力本部（本部長 高田 充 1海佐）は、11月17日（月）、J:COM湘南（ケーブルテレビ）のテレビ番組、「夕なび」に生出演した。

番組は「憧れの職業公務員編」というテーマで、小学生からの電話による質問に、神奈川地本に勤務する陸・海・空の自衛官が回答するという形で進められ、「訓練は大変ですか」、「自衛官になって良かったことは何ですか」、「なぜ自衛官になろうと思ったのですか」等の質問に答えた。小学生の、「やりがいがありそう、でも大変そう」という感想に、スタジオ内に笑いが起きていた。収録後、出演した自衛官達は、「テレビに生出演という貴重な体験をさせていただき、ありがとうございます」と感謝の言葉を述べ、スタジオを後にした。

神奈川地方協力本部は、「小学生の憧れの職業となるよう、あらゆる媒体を活用して自衛隊をPRしていく。」としている。

「自分で作ったベッドは最高」



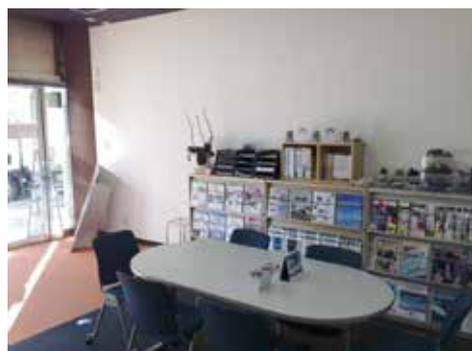
自分で作ったベッドに寝転がる生徒

神奈川地方協力本部相模原地域事務所（所長 大塚3陸尉）は、11月19日（水）～21日（金）の3日間にわたり、相模原市立麻溝台中学校2年生7名に対し、「総合的な学習の時間」を支援した。

初日と二日目は、海上自衛隊第2術科学校において、ディーゼルエンジンの見学、応急器材の取扱い、営内生活などを体験した。最終日は、陸上自衛隊座間駐屯地において、天幕展張、ロープワーク、中央即応集団司令部内の施設見学などを行った。なかでも営内生活体験におけるベットメイキングでは、いかに早く、そして綺麗に作るかをグループで競い合った。教官の許可を得て、完成したベッドに思い切り寝転がり、大満足の様子であった。

相模原地域事務所は、「今後も、積極的に「総合的な学習の時間」を支援し、多感な生徒達に自衛隊の魅力を伝えていく」としている。

新相模原地域事務所への移転から5ヶ月



道路に面した1階 広報スペース

神奈川地方協力本部相模原地域事務所（所長 大塚3陸尉）は、平成26年7月1日の新事務所への移転から5ヶ月を迎えたが、この間、多くの方々に事務所を気軽に訪れて頂き、自衛隊の活動写真パネルやパンフレット等を見て頂いた。時には、「トイレを貸してください」という珍客もあった。新事務所は、旧事務所と違い事務所が1階にあるため、人目に付き易く来客数が増加したものと思われる。

相模原地域事務所は、「新事務所の有利な立地条件を十分に活かし、募集成果に繋げて行きたい」としている。